



芝小だより

1月号

令和6年1月9日
 発行者 港区立芝小学校
 〒105-0014
 港区芝2-21-3
[TEL:03-3456-3072](tel:03-3456-3072)
[FAX:03-3456-3071](tel:03-3456-3071)

「あけましておめでとうございます」

校長 川原 哲郎

令和6年、2024年が始まりました。今年は、北陸の震災、羽田の飛行機事故と穏やかとは言えない年明けになってしまいました。皆様の御家庭では、どのような新年を迎えられたのでしょうか。昨年は、新型コロナウイルスの影響が無くなり、以前のような教育活動を多くの場面で行うことができました。芝小開校145周年を祝う取組もあり、保護者の皆様、地域の皆様に御協力をいただき、子供たちの笑顔をたくさん見ることができました。ありがとうございました。

さて今年の「辰年」は、「活力が旺盛になって大きく成長し、形が整う年」と言われています。学校では、子供たちが生き生きと活動し、いろいろなことに挑戦し成長していける年にしたいと思います。そのためには、子供たちがいろいろなものにふれ、体験し、視野を広げ、興味関心をもてるような教育活動を行っていくこと。頑張っている人を認め、応援する態度や、うまくいかなくても目標に向かって努力したことを認めていく姿勢など、子供たちが安心して挑戦したいと思える環境をつくっていくことも大切だと思っています。

昨年、こども家庭庁ができ、「こども基本法」が施行されました。それに伴って「こどもまんなか社会」という言葉も聞かれるようになりました。昨年12月に、港区の「マイスクールPRコンペティション」というものがあり、港区立の小中学校の代表者が港区議会場に集まり、各校の地域とのつながりや特色などを踏まえた児童主体の活動を発表しました。本校からも、運営委員会の6年生二人が出席し、開校145周年記念集会やバルーンリリースについて、保護者や日頃お世話になっている地域の方と一緒に周年をお祝いしたいという思いから実現したことを発表しました。このように、子供たちの思い、願いが取り入れられ、子供たちが中心になって活躍していく場が、今後増えてくると思います。私たちも全力で応援していきます。

今年も更に子供たちの笑顔があふれる年になるよう、教職員一同引き続き努力してまいります。保護者の皆様、地域の皆様にも、より一層の御理解と御協力、御支援を賜りたくお願い申し上げます。

来年度に向けて

今、学校では来年度の計画を立てています。その中で大きく変更する点についてお伝えします。

●土曜授業の削減について

来年度の土曜授業の実施日数について、港区教育委員会より通知がありました。学校では、年間に行う授業時数がだいたい決まっていますが、これまでは、学級閉鎖等が起きた場合のことも考え、時間数に余裕をもって計画を立てていましたが、文科省の方針でその必要が無くなりました。これに伴い、来年度の土曜授業日数は行事も含めて5日程度になる予定です。

●あゆみ（通知表）について

現在、年3回「あゆみ」を渡しています。来年度は、年2回（10月、3月）にします。長期休業前には、個人面談を行いお子さんの学校生活の様子、学習の様子について、口頭でお知らせします。保護者の方と対話を大切にしながら、子供たちを育てていきたいと思えます。

●運動会について

運動会を秋に実施する予定です。子供たちの体力面、学年や学級経営面、暑さ対策等を考慮しての実施になります。

1月生活目標「礼儀正しくしよう」

「自分から先にすすんで挨拶をできる子に」
 新しい年が始まりました。2学期の終業式の際、子供たちに、年末年始の挨拶をしっかりと行いましょうという話をしました。気持ちよくできたことと思います。

看護当番の教員が毎朝、玄関前に立ち、朝の挨拶をしながら子供たちの登校の様子を見守っていますが、「おはようございます!」と、さわやかに挨拶する児童がいる一方、黙って通り過ぎる児童も少なくありません。挨拶は、人と人とを結びつける基本となるものであり、一生を通じて大事にしたいものです。新年の始まりをきっかけに、まずは気持ちのよい挨拶から「礼儀正しくしよう」の目標を体現してほしいと思えます。

(生活指導部 田向 あかね)

学びの部屋

～3年生 社会科見学～

3年生になり、社会科が新しい教科として加わりました。2年生までの自分たちの学校や町から範囲を広げて港区について学んでいます。2学期には、港区にあるスーパーマーケットとお菓子工場に社会科見学に行き、「実際に見て、聞いて学ぶ」という3年生の時期に必要な体験ができました。調べたことや分かったことをポスターや新聞にまとめる力も付いてきました。「お店の人はお客さんのことを考えて、衛生面にも気を付けている。」「工場の人はお客さんに喜んでもらうために、安心安全な材料を使って、いろいろな商品を作ってくれている。」など、自分たちの生活との関わりを学びを広げ、いろいろな人に支えられていることを実感しています。

(3年生担任 田部井 千可子)